

上原共栄会 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成27年5月26日（火） 午後6時30分～

2. 対象地区・団体

上原共栄会（上原9町内1、9町内2）

3. 代表者名

上原共栄会 会長（9町内2自治区長）小柳 博巳（参加者32名）

4. 開催会場

道の駅にしあいつ交流物産館よりっせ

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、副町長 伊藤 要一郎、参事兼総務課長 新田新也、町民税務課長 上野善弘、建設水道課長 成田信幸、企画情報課長 大竹 享、企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課主査 山口則夫

6. 上原共栄会会長あいさつ（要旨）

本日の懇談会は、現在町が進めている旧野沢幼稚園跡地を利活用する公園整備事業について、また公園に隣接する新しい道路の整備事業についてが主な懇談内容になります。その後、事前に町に提出してありました課題等について、まず、野沢駅通りの歩道と車道の除雪について。2点目、山口惺様、岩城宗吉様宅の通りの除雪の対応について。そして3点目に上原大清水から船橋新聞店様に至る流雪溝の整備について。それから、集会所建設に対する町の支援について。5点目に、防災無線の聞きにくさの解消策について。6点目にマイマイガ対策について町に地域課題として出しておりました。せっかくの機会ですので忌憚のない意見交換ができればと思っております。有意義な懇談会になりますよう祈念しあいさつといたします。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明 町長（要旨）

町は昨年、町制施行60周年を迎えました。昭和29年7月に町が誕生し、当時の人口は19,293人。世帯数は3,083。当時の一般会計予算は約7千万円でした。現在の人口は約7千人。世帯数は2,800。そして予算は63億4,600万円になりました。そして何より大きく変わったのは、人口が減少し、高齢化が非常に進んでいることで、高齢化率は42パーセントとなっています。西会津町だけではなく、全国の市町村において同じようなことが課題となっており、だからこそ今何をしなければならないのか、自治が消滅しないようどうすればいいのかが、これからの西会津町にとって一番の大きな課題になってくるだろうと思っています。私たちはこれをしっかり現実的にとらえていかなければならないと思います。最近の課題についてですが、まず一つは国が進めている、まち、ひと、しごと創生事業であります。この事業の推進にあたっては、五カ年の創生総合戦略を各市町村で策定しなければならないわけでありまして。この作業を5月28日に開始します。町内の若い人に集まってもらい、今後政策的に何に重点的に取り組むべきなのか、この5年間でどう変わろうとするのかなどを具体的な形にする。これが創生事業であります。さまざまな課題はありますが、町の将来展望をしっかりと示していくことが必要です。国からは、これに対する関連交付金として町に5,250万円交付されています。用途については、一つは商工会が事業主体のプレミアム商品券に1,937万3千円を

充当しまして、地域活性化あるいは消費喚起に取り組んでいこうという考えで、1億円以上の経済効果があると試算しています。残りの交付金 3,312 万 7 千円については、出生を短期間で増やすことは難しいため、西会津町の第二の町民になってもらう「ふるさと町民制度」を設け、交流人口を増やしていく、そういう制度、仕組みづくりをこの中で行っていきたいと思っています。また定住移住総合センターといった組織をつくり、空き家を利用し、町に住んでもらえるような移住対策に地方創生で取り組み、さらに6次産業化、農産加工等をもっと進めていきたい。加工品が道の駅などの店頭並び、作るだけでなく販売にシフトしていくことが大事だと思っています。そして何より起業支援、これをやっぱり地方創生で取り組んでいきたいと思っています。こういった事業に交付金を使っていきたいと思っています。

次に、野沢町内の事業について申し上げたいと思います。一つは野沢原町ポケットパーク、野沢原町に駐車場、そして小さな公園などをつくり、これが野沢中央線の中心になるというふうに思っています。そして、二つ目はふるさと自慢館ですが、商工会とともに取り組んでいきたいと思っており、ふるさと自慢館をもっと拡張して本当に西会津のふるさとを自慢できるように整備してまいりたいと思います。野沢中央通りについては、これから歩いて楽しめるような中央通りでなければならないと思っており、除雪体制もしっかりしなければなりません。消雪についても検討してまいりたいと思っております。

それから野沢駅通り公園整備事業、旧幼稚園跡地の周辺の改良であります。一つは道路改良をしたいということでもあります。そして旧幼稚園跡地の周辺整備、これをしっかり対応していきたいと思っています。

次に、野沢地区都市再生事業であります。これは役場の周辺整備であります。現在、旧西会津小学校を役場庁舎にする計画で進めています。役場が撤去されればこれは将来構想ですが町民文化センターを建設したいというふうに思っています。この場合、現在の役場裏の空き地をもっと有効に活用していくことが必要であると思えます。

また、野沢町内の除雪体制の見直しをしていく必要があるだろうと思えます。高齢化が進み除雪の苦労をどうやって克服できるか。十分に話し合いを進めてまいりたいと思えます。

さらに、現在、道の駅にしあいつ「よりっせ」の隣に地域連携販売力強化施設の整備を進めており、平成 28 年の秋には開業する計画で進めているところであります。

それから、小学校の整備が終わり、今度ははいよいよ保育所、幼稚園であります。国の制度を使って 200 名規模の新しい認定こども園を小学校の隣接地に整備する計画であり、今、地権者と話し合いを行っています。平成 29 年 4 月に開園する予定で、これから事業を進めてまいります。さらにハード面だけではなく、地域医療福祉、そして健康づくり、さらにはバイオマス再生可能エネルギー利用、これらもしっかり計画を立てていますので、こういった分野についても取り組んでまいりたいと思っております。皆さんからのいろいろなご意見、ご要望を承ってまいりたいと思えます。今日はよろしくお願いたします。

8. 野沢幼稚園跡地の活用について 企画情報課長（要旨）

上原地区に計画している野沢駅通り公園整備事業は、平成 25 年度から進めている国土交通省の補助事業、都市再生事業で、地域活性化に資する施設、また町民の憩いの場、防災面の強化、こういった事業について国の補助を受けて実施するものであります。野沢幼稚園跡地については、公園を整備し、町民の皆さんの憩いの場、交流の場をつくろうというものであります。それから道路につきましては、上原地区は住宅が連なっているため、緊急車両の進入、災害時の対応などといったことから計画するものであります。場所については、図面のとおりで、道路延長は約 85 メートル。路線に係る住宅の解体、移転などが完了した後、秋以降に工事に入る予定でスケジュールを組んでいるところであります。また、公園の予定地については、2,300 m²ほどです。内部的にはあずまや、トイレ、駐車場などの整備を予定しております。また子どもが遊べるような遊具なども設置し、それからゲートボールなどの多目的スペースをつくり、

排雪などでもできるようなスペースを確保する内容で設計を進めていきたいと思っています。今年度は、これから業者を決定し、設計作業に入る予定です。設計が出来上がりましたら、地域の皆さん、代表の皆さんと話し合いをしながら中身を決めていきたいと思っていますところですが、実際に工事に入るのは来年度になります。今年度はこの道路一本の整備と、公園の設計を行う予定です。

それから、ここにもう一つ道路図を入れておりますが、何度か現地周辺を歩いてみたところ道路がすごく狭く、現道を改良するのはなかなか難しいため、将来的に例えばこのような道路ができれば緊急車両が入れるのではないかと、現状をみながら検討したものであります。これはあくまで将来構想ですが、今後こうした道路について役場の中でも検討させてもらい、町内の皆さんとも話し合いをしながら考えていきたいと思っています。以上で説明を終わります。

9. 地域課題「除排雪について」 建設水道課長（要旨）

まず1点目の野沢駅通りの歩道、車道の除雪についてですが、まず歩道の除雪は、町が委託する除雪オペレーターが手押しの除雪機で行っています。以前は乗用ロータリー車で行っていましたが、カラー舗装が削れてしまうという理由で、手押しの除雪機に変更しています。歩道には、県道改良の際に流雪溝が設置されましたが、なかなか水が無いということで一日おきに道路の右側と左側で30分ほどですが、流雪溝を使ってもらっている状況です。こうした状況のため雪が多い時には不便な状況であることは十分把握しています。いかにせん水が無いということで、地域の皆さんのご協力をいただきながら消雪、除雪を行わざるを得ないと考えております。

一方、車道は消雪パイプで対応しています。道路の雪を消すには十分な水量ですが、それ以外の雪を車道に出すと、なかなか消えないで残ってしまいますので、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。町では、野沢初市前に、除雪を行っていますので、そういう機会を利用しながら雪の処理をしていただきたいと思いますと考えております。

2点目の山口榎さんから岩城宗吉さん宅の通りの除雪についてですが、幅員がかなり狭く、広いところでも2m程度であり、以前から克雪活動実行委員会の中で、ロータリー車を使って作業してもらっている路線です。住居が連なっているため、雪を飛ばすのにも苦労していると聞いておりますが、何とか地域の皆さんのご協力をいただきながら対応していきたいと考えています。

3点目は、流雪溝の整備であり、大清水と呼ばれる場所から四岐川に落ちる流雪溝を船橋新聞店さんまで延長する提案ですが、流雪溝を延長するには、まず既存の側溝を流雪溝タイプのものに整備する必要があり、現在の道路勾配から深い側溝にするといった対応が必要になります。2つ目の課題として、さゆり公園と芝草を結ぶ道路に流末を整備する大掛かりな工事が必要になります。3点目は、現在、分水板を使って時間を決めて雪を流しているため、延長しますと、現在の時間の割振りでは対応できなくなるということで、全体の排雪時間配分の見直しが必要になります。この3点が課題となります。したがって、なかなかすぐに対応することは難しい状況ですが、町としてはこの流雪溝について検討し、その検討の結果をもとに克雪活動実行委員会、さらに地域の皆さんと協議しながら進めていきたいと考えています。

10. 地域課題「集会所整備に係る支援について」 参事兼総務課長（要旨）

町には集会所等の新築や改修整備の支援制度として、コミュニティ育成事業があります。この助成制度の補助金額は、工事費用の40%以内、上限が400万円となっています。補助金の交付にあたっては町の予算計上が必要になりますので、本補助金を使う場合は、総務課に相談いただきたいと思います。

さらに、集会所の新築等の補助金は、もう一つあって宝くじの剰余金を財源とする一般財

団法人自治総合センターのコミュニティセンター助成事業という事業があります。この補助は、町の補助金よりも有利な補助であり、補助率 60%、補助金の上限は 1,500 万円です。町内でもこの事業を活用した自治区があります。ただしこの助成事業は、建築する前年に自治総合センターへの補助申請が必要となります。また、かなり倍率が高い補助で、必ず採択されるという補助ではありません。さらに申請する団体は、地縁団体として法人格を取得する必要があります、集会所新築後には法人格名義で保存登記手続きが必要になります。

なお地縁団体は、上原共栄会という形で指定を受けることが可能です。地縁団体になる際には規約等々が必要になりますので、総務課に相談いただきたいと思います。

1 1. 地域課題「防災行政無線とマイマイガ対策について」 町民税務課長（要旨）

まず、上原の防災行政無線については、先般、現場を確認しました。スピーカーの向きを確認したところ、まず上田クリーニング店方向、それからミエパーマ店方向、もう一つは野沢駅方向に向いており、野沢民芸さん付近が聞こえにくいのはと現場を見てきました。

来週、防災行政無線の保守業者と再度調査し、例えばもう一つスピーカーを付けることができないかなど、確認したいと思っています。

参考までにですが、現在の防災行政無線はアナログで使用期限が平成 34 年 11 月末までとなっています。今年度は、新たな機器の整備に向けた電波調査、それから基本計画など今後の防災行政無線のあり方について検討することとしており、この中で例えば各家庭に聞こえるようなものを付けることができないかなど、そういったことを今年度の作業の中で方向性を出していきたいと思っています。

それからまた、今年度ケーブルテレビ事業の中で防災無線のお知らせ内容をケーブルテレビの画面上に文字で出すといった整備を進める予定であります。

続いて、マイマイガ対策であります。町では今年度 4 月に噴霧器を 2 台導入しました。この機械と薬剤を無料で提供してまいります。共同防除を希望する場合は、町民税務課に連絡いただければ対応いたします。

1 2. 質疑応答

【質問 1】

3 点質問します。まず駅前通りの除雪ですが、問題になっているのは道路の両サイドに山ほど雪が残ってしまうこと。よりっせのタンクに満タンに水が入れば流雪溝に水を流せるわけで、駅前通りの除排雪の問題を解決するには、暗きょ排水と溜め枡の二つの原因があると思っています。それから集会所についてですが、これは地区で考えることですが、9 町内だけではなく、近隣の 10 町内、8 町内も使えるようなコミュニティホールであれば負担率が軽減され、またお互いに集まることができるだろうと思います。それから、流雪溝の船橋新聞店までの延長ですが、現在雪を捨てる場所がないという地域ですので、これは将来必ず実行してもらいたいと思います。

【建設水道課長】

1 点目の駅前通りの流雪溝関係ですが、県道の同気前からよりっせまでの構造がもともと流雪溝タイプの側溝ではないので、どうしても構造的な弱点があることを聞いています。県に要望し改善してもらおうよう進めていきたいと考えています。3 点目の流雪溝の延長の関係については、さまざまな課題がありますが、皆さんが雪処理に困っている現実がありますので、検討し、その結果を皆さんにお伝えし、協議しながら前向きに考えていきたいと思っています。

【参事兼総務課長】

自治総合センターの補助は、補助金の上限が 1,500 万円で 6 割補助ですので事業費ですと 2,500 万円の建築費に対して 1,500 万円までの補助金ということです。それから仮に 9 町内以外の自治区と一緒に建てる場合は、地縁団体が補助の条件になりますので、上原共栄会と近隣

の自治区が地縁団体として認可されるかどうかという点が当然絡んできます。関係自治区の皆さんが理解し、地縁団体にできない限りなかなか難しいと思います。町の補助については複数の自治区が共同で集会施設を建てる場合でも、前例はありませんが補助対象事業として検討できると思います。

【質問2】

旧幼稚園跡地は9町内に住む者として思い出のある土地であり、希望ですが大きな桜の木がありますので、桜を残し、生かす方向で公園をつくっていただければと思いますのでよろしくお願いします。それから、積雪が多いときなど、野沢駅前の交差点の見通しが非常に悪いときがあります。昨年冬には交通事故が発生しました。もう少し早く除雪対応ができないのかと思います。どういった方法で除雪が行われているのか教えていただきたいと思います。

[企画情報課長]

桜の木を残すことについては、これから測量設計入りますのでどういった施設を公園の中につくるのか測量会社と協議していきます。全て残すことはできないかもしれませんが、桜の木の配置などを検討し、地域の皆さんと十分協議しながら設計を組んでいきたいと思っています。

[建設水道課長]

駅前の除雪の関係ですが、特に朝晩、通学や通勤の関係で一時的に混む時間帯があり、また大雪の際にはなかなか雪を押し場所がなく、駅敷地内に仮置きさせてもらうといった方法で行っています。状況を考慮し、できるだけ早めに排雪するような対応を考えながら、また県と連携しながら対応していきたいと考えております。

【質問3】

旧幼稚園跡地の整備に関しては、過去に2回町から計画の説明がありました。その時示された図面はもっと具体的でした。ところが今日示された図面はあまりにも大雑把な図面です。当時の計画を一旦白紙に戻してからスタートするのか、それとも今日はそこまでお知らせしたくないのか、いつの時点でこういう内容に変わったのか、変わった経緯を説明してほしい。

[企画情報課長]

これから測量設計会社に委託し、例えば、あずまや、トイレ、駐車場、遊具など、それから皆さんの希望を聞きながら設計に反映していきたいということで、区長さんとも相談し、今回は大雑把な図面に直して提案させていただきました。

【質問4】

山口さん宅から岩城さん宅の通りの除雪対応についてですが、要するにブルドーザが入れないため、ロータリーの機械を買って、それを克雪委員会に委託しているのだと思いますが、これがうまく運用されていないわけです。早朝毎朝雪の片付けをお願いしたいところですが、やってもらえる民間の人がなかなかいない。このため町が配置する熟練のオペレーターをお願いし除雪してもらうことはできないか。

[町長]

配置することができるかどうか検討していきたいと思います。雪への対応については、もう一度地域の皆さんと話し合っ、どういう方法がいいのか最良の方法を考え、少しは前に進んだと言われるように取り組んでいきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

【質問5】

多目的スペースを集会所の敷地として使わせてもらえるのかどうか伺いたい。

[企画情報課長]

公園の一部を集会所用地として使用したいという要望があれば、公園用地から外し、更地

にするとといったように今後の設計の中で皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思ひます。

[質問6]

駅前の歩道の補修について、雨が浸透するように整備されましたが、石が取れているので補修してもらえないかお聞きします。

[建設水道課長]

県に現地を見てもらって対処してもらおうよう要望したいと思ひます。

[質問7]

駅通りの除雪についてですが、歩道の雪を処理するには車道に出さざるを得ない状況で、このため車道が狭くなってしまいます。初市の前の除排雪作業のような機会を、もう1、2回増やしてもらえないか考えてもらいたいと思ひます。答弁は結構です。

[質問8]

特に野沢駅付近の歩道ですが、犬のふんの処理がきちんとされていません。ぜひ周知徹底をお願いしたいと思ひます。

[町民税務課長]

昨年10月に快適環境づくり条例を制定しました。条例に基づき重点区域を指定することができるため、現在、さゆり公園周辺などの指定を検討しているところです。また、看板等による周知はもとより、ケーブルテレビやチラシなどを使って広く呼び掛けていきたいと思ひます。

[質問9]

公園の件で確認ですが、新しい道路ができた場合、今のゴミ集積場の移設、新設は誰がやるのか。

[企画情報課長]

移転補償費をとっていますので、移転場所については皆さんのご意見を踏まえ、現場を見て検討していきたいと思ひます。

[町長]

今日で全て納得したということはないと思ひます。例えば流雪溝の延長の問題ですが、要望があったような流雪溝整備が可能なのかどうか、この際様々な角度から検討し、実現可能であれば皆さんにお示ししてまいりたいと思ひているところです。将来計画のもう一本の道路についても、そこに道路を通すことによって土地の利用価値が出てくるのではないか思ひますので今後、道路計画の中で検討していきたいと思ひます。まだまだいろいろな課題があるかと思ひます。こうした場を今後も設け皆さんと十分話し合いをしてまいりたいと思ひます。